

平成25年 3月 6日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 愛知県立春日井高等学校 担当 赤池哲朗
2. 講師氏名: Briony Louise MAMO
3. 同行者氏名: 倉沢篤史
4. 実施日時: 平成25年 3月 4日 (月) 14:20 ~ 16:10
5. 参加生徒: 1年生 33人、 2年生 23人 (合計 56人)
備考: (例:理数科の生徒)普通科コスモサイエンスコースの生徒
6. 講演題目: (英文)Foraminifera : small size , big tool
(和文) 有孔虫
7. 講演概要: 講師の自己紹介から、いかにして自分の研究分野に興味を持つに至ったかがはじめに話された。次に、「有孔虫」がなぜ有用なのか、有孔虫が死んでも殻が残るため、どんな自然現象が起こったかの検証ができることが話された。さらに、有孔虫を顕微鏡で実際に見るグループと質問事項を話し合うグループに分かれ、実習を行った。30分で交代し、最後に再び全員が集まって、質問事項の答を発表した。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、顕微鏡による有孔虫の観察、ディスカッション
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から講演概要とキーワードを示して頂き、英語の授業の中で取り上げた
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: